

尼崎労働者安全衛生センター第26回総会 ご案内

2015年8月26日

尼崎労働者安全衛生センター

議長 松原 保

まだまだ暑い日が続いておりますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。私たち安全センターは間もなく第26回目の総会を迎えます。この一年も定例交流会、安全と衛生の講演会の取組みを加入労組・団体と共に、着実に進めてきました。定例交流会ではメンタルヘルス不調者の状況や対応・対策、有給休暇の使用状況と工夫、出張に関する規定、安全衛生委員会の取組み、災害事例・ヒヤリハット、安全パトロールの取組み方について各職場の発表を基に意見を交わせました。安全と衛生の講演会では「増え続けるメンタルヘルス不調を改善する」、「労働組合だからできること」、「脱原発への確かな道」をテーマに集会を持ちました。2015年はクボタショックから10年目という節目の年であり、二日に渡って集会を開催しました。

安全衛生の取組が後退するということは「安全」や「健康」が損なわれることにつながり、それは「事故」や「病気」につながります。事故や職業病が起きてはじめて対策を打つのではなく、「事故後に打つ手を先に打つ」ことが大切です。26回総会では2014年度の取組み報告、2015年度の活動方針が各労組、職場にとって役に立つものとなっているかをセンター加入労組、参加者の皆さんと議論・確認したいと思っておりますので積極的なご参加をお待ちしております。

総会後には特別講演「ストレスチェックにどう対応するか」を行います。今年12月以降から50人以上の労働者がいる事業場で実施が義務付けられたストレスチェックですが、背景には職業生活で強いストレスを感じている労働者の割合が高い状況で推移していることなどがあります。このストレスチェック制度を労働者、また安全衛生の向上にとって少しでも良いものとするためには制度の理解、労組での対応等が重要になってきます。この機会を是非ご活用いただき、安全で快適な職場づくりを進めましょう。皆さまのご参加をお待ちしております。**(どなたでも参加可。無料。)**

記

と き：9月30日（水）午後6時～8時

特別講演：「ストレスチェックにどう対応するか」

講 師：西野 方庸さん（連合近畿労働安全センター 参与）

と ころ：尼崎市立中小企業センター会議室501

TEL：06（6488）9501

○阪神尼崎駅から北東へ徒歩5分（国道2号線沿い、消防署隣）

○都ホテルニューアルカニック南向かい側

※総会終了後、恒例の懇親会を予定しております（500円）

お問合せ先 06-4950-6653（塩見、飯田）